



The Outdoor Company™

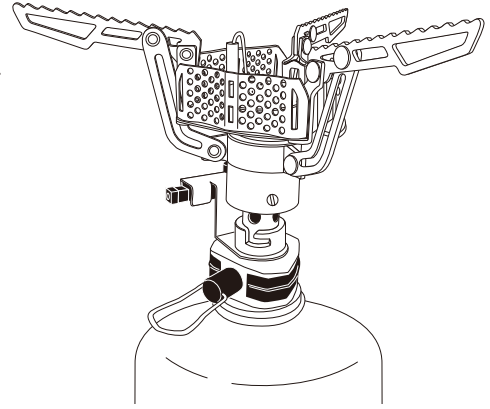
FYRESTORM™

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いのうえ大切に保管してください。

保証書付

保証書は、この取扱説明書の裏表紙についています。



屋外専用・室内使用禁止

※ご使用前に、「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※製品を正しくお使いいただくため及び、あなたや他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。

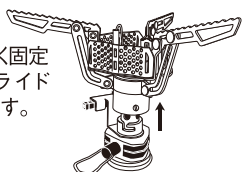
- 一般的な禁止 △ 一般的な注意 ① 必ず行う ② 接触禁止 ③ 火気禁止

(1) 点火の準備 屋外の火の気のない所で行ってください。①

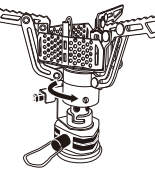
- ① 器具栓ツマミが右方向に止まるまで回っていることを確認してください。



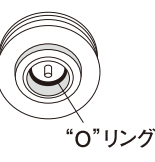
- ② 本体を押さえて、ごとく固定リングを上へスライドさせ、ごとくを広げます。



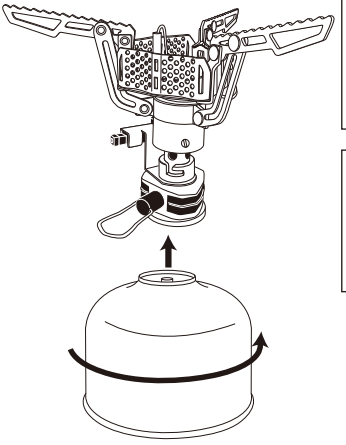
- ③ ごとか固定リングを矢印の方向に回し、固定してください。



- ④ カートリッジ(容器)接合部の“O”リングに損傷がないことを確認してください。



- ⑤ ガスカートリッジ(容器)のキャップを取り、接合部に対して垂直に取り付け、左(反時計)方向に回して、完全に止まるまで確実にねじ込んでください。



注意
● “O”リングに異常(亀裂、破損、硬化、縮み、未装着等)がある場合は、お買い求めの販売店にて交換・修理を依頼してください。



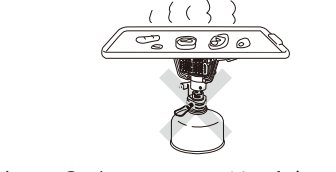
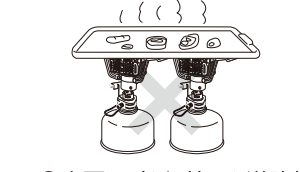
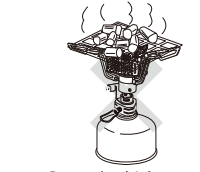
準備時の注意
● ガスカートリッジ(容器)を取り付ける際は、無理に回し過ぎたり、斜めに取り付けたりすると接続部、ガスカートリッジ(容器)を破損するおそれがあります。

警告 安全のために必ずお守りください。

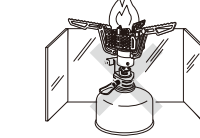
ガスカートリッジ(容器)の取扱について

- ① ① ガスカートリッジ(容器)が過熱されると内部の圧力が急上昇し、爆発の危険性があります。次のような使い方は絶対におやめください。

- 炭の火起こし ● 2台以上並べての使用 ● 幅射熱が大きい調理器具の使用



- 風防、鉄板や岩などで囲う ● 真夏の砂浜、焼けた道路等ガスカートリッジ(容器)が過熱される所 ● ガスカートリッジを、火気や他の熱源(ヒーター、こんろ等)の近くに置かない



- ② ② ガスカートリッジ(容器)は風通しの良い、湿気の少ない40℃以下の場所にて容器キャップをはめて保管してください。また器具使用後は必ずガスカートリッジ(容器)を取り外して別々に保管してください。

- ③ ③ ガスカートリッジ(容器)は火気の近くや直射日光(室内や車内の窓際など)の当たる場所等40℃以上になる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。

- ④ ④ 使用済みのガスカートリッジ(容器)はお持ち帰り頂き、残ガスがないことを確認してから、各自自治体の指示に従って捨ててください。

使用場所の注意

- ① ① 屋外専用です。室内・テント内・車中もしくは換気の悪い場所でのご使用はおやめください。

- ② ② ガス器具の燃焼には多量の酸素が必要です。換気には充分注意してください。

- ③ ③ 設置面が安定していて、水平な場所に置いてご使用ください。斜めに置くとコンロが倒れるおそれがあります。

注意 安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ(容器)の取扱について

- ① ① ガスカートリッジ(容器)に表示してある注意事項をよく読んでからご使用ください。

- ② ② 保管してあるガスカートリッジ(容器)はときどき点検してさびが発生している場合には、できるだけ早く使用してください。

- ③ ③ ガスカートリッジ(容器)にLPガスの再充填はできません。

ガスカートリッジ(容器)は、コールマン純正LPガス燃料230g/470gをご使用ください。

- ④ ④ コールマン製品ではガス燃焼器具とガスカートリッジ(容器)を一体にした状態で設計、品質管理を行っています。性能・安全を維持する為にもコールマン純正ガスカートリッジ(容器)をご使用ください。

火災予防の注意

- ① ① 燃えやすい物からは上部1.2m、周囲は50cm以上離してご使用ください。特にテント、スリーピングバック、干してある洋服等の近くでは使用しないでください。

- ② ② 火をつけた状態での持ち運び、就寝や使用場所を離れたりしないでください。

- ③ ③ 器具の下にダンボール紙など燃えやすいもの、もしくはビニールクロスなど熱に弱いものを敷いたりしないでください。

ガス事故防止

- ① ① ガスカートリッジ(容器)は正しくセットし使用中も正常に燃焼(突風などで吹き消されていないか)していることをときどき確認してください。

- ② ② LPガス(液化石油ガス)は空気より重たいためガス漏れした場合は低所に溜まります。もし、ガスのおい(玉葱の腐ったにおい)がした場合はすぐに器具の使用を止め、十分に換気してください。

- ③ ③ ガスカートリッジ(容器)の取り付け、取り外しの際には少量のガスが漏れます。周囲に使用中の燃焼器具や火の気がないことを確認してから行ってください。

使用上の注意

- ① ① 使用中は、器具から目を離さないでください。

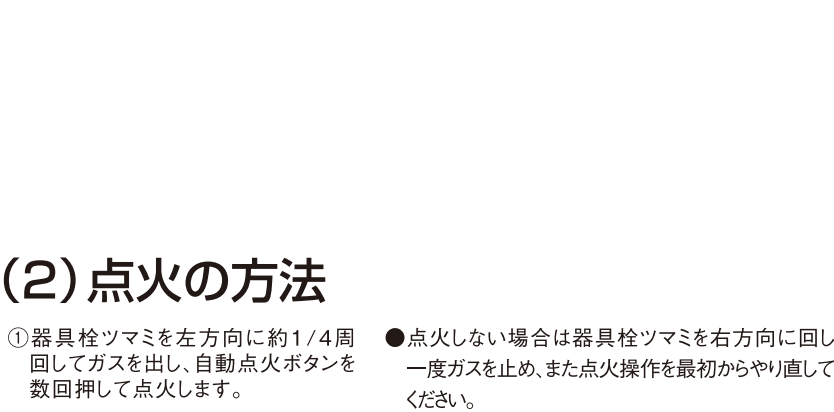
- ② ② 使用中及び、消火直後は本体及び、本体カバーが非常に熱くなっています。やけどのおそれがありますので次の時は、十分にご注意ください。●使用中の火力調整。●消火時および再点火時のツマミ操作。●ガスカートリッジ(容器)の交換作業。

- ③ ③ 万一異常燃焼を起こした時や緊急の場合は、ただちに器具の使用を止め、ガスカートリッジ(容器)を取り外してください。(青い炎が正常の状態です。)

(2) 点火の方法

- ① ① 器具栓ツマミを左方向に約1/4周回してガスを出し、自動点火ボタンを数回押して点火します。

- ② ② 点火しない場合は器具栓ツマミを右方向に回し一度ガスを止め、また点火操作を最初からやり直してください。

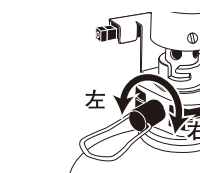


点火時の注意

- 炎は上にかかるので、点火操作をするときは器具の上にかがみこまないでください。
● 一度で点火しない場合は左記、点火作業を繰り返し確実に着火したことを確認してください。
● ガスの勢いが強すぎたり、気温、風、湿度等の自然条件により点火がうまくいかない場合があります。この様な時はマッチ等で点火してください。

(3) 火力調節と消火

火力の調節は、左方向に器具栓ツマミを回すと火力が強くなり、右方向で弱くなります。消火は、右方向に器具栓ツマミを止まるまで回してください。消火を確認してください。

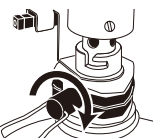


火力調節時点火時の注意

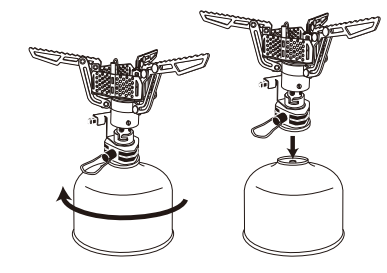
- 器具栓ツマミを急激に回すと、炎が消えることがありますので、ご注意ください。
● 使用中はときどき正常に燃焼しているか確認してください。
● 消火は、器具栓ツマミを完全に右方向に回らなく、なるまで回してください。火が消えても完全に回っていないとガス漏れします。
● 使用中及び使用直後は本体カバーが非常に熱くなっています。火力調整及び消火のときは、十分にご注意ください。

(4) 収納 本体が充分冷えてから行ってください。①

- ① 器具栓ツマミが右方向に止まるまで回っていることを確認してください。

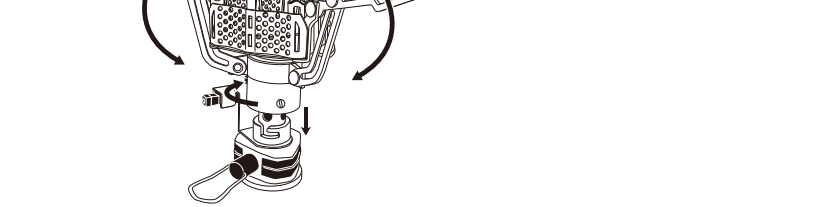


- ② 本体を押さえて、ガスカートリッジ(容器)を右(時計)方向に回して、垂直に外してください。



- ③ ごとか固定リングを矢印の方向に回し、締めます。

- ④ ごとか固定リングを下にスライドさせ、ごとくをたたみます。



日常の点検・お手入れ・保管

点検・お手入れの際のご注意

- 使用前に必ずガス漏れがないことを確認してからご使用ください。
● 日常の点検、お手入れは必ず行ってください。
● 特に煮こぼれたときは、必ずバーナーの掃除を行ってください。
● 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
● 点検、お手入れの前には、必ずガスカートリッジ(容器)を取り外してください。
● 点検、お手入れはバーナーが冷えてから行ってください。

- 器具の各部が充分冷えてから湿気の少ない場所に保管してください。
● ガスカートリッジ(容器)は、容器キャップがついていることを確認してから、風通しの良い40℃以下の場所に保管してください。
● 本体にガスカートリッジ(容器)をセットした状態のまま保管することは絶対におやめください。

注意 安全のために必ずお守りください。

- ④ ④ 器具上で使用する調理器具及びその内容物の合計は、3.5キログラムを超えないようにしてください。

- ⑤ ⑤ 直径20センチメートルを超える調理器具は使用しないでください。

- ⑥ ⑥ この器具は屋外専用調理器具です。調理以外の用途には使用しないでください。過熱・異常燃焼などによる焼損や火災などの危険があります。

- ⑦ ⑦ 使用中や使用直後は、器具全体が高温になっておりますので手を触れないでください。

- ⑧ ⑧ ご使用の際は特にお子様にご注意してください。器具を保管する場合も幼児・子ども等の手の届かない所に保管してください。

- ⑨ ⑨ 使用後は器具を乾いた布等でよく拭いてください。グリース等が残っていると思わぬ出火の原因になります。

- ⑩ ⑩ 補助具・付属品等は当社指定のもの以外は使用しないでください。

修理はお買い求めの販売店にご依頼ください。

故障・異常の見分け方と処置の方法

原因	使用していない。	専用ガスカートリッジ(容器)を誤って使用している。	バーナーの目づまり、炎口部の汚れ。	目づまり、炎口部の汚れ。	不適切な点火操作が原因。	器具栓の故障。
現象	ガスカートリッジ(容器)が取り付けられない。	○				
点火しない(しにくい)。			○	○	○	
炎が安定しない。			○	○		○
火力が弱い。			○	○		○
消火しない。						○
処置方法	使用していない。	専用ガスカートリッジ(容器)を誤って使用している。	目づまり、炎口部の汚れを掃除する。	目づまり、炎口部の汚れを掃除する。	再読取度ん扱行でか明書を参照する。	器具栓の故障を修理する。

※以上の事項をご確認の上、それでも不都合な場合、あるいはご不明な点がある場合は、お買い上げの販売店に保証書を添えて点検・修理をご依頼ください。

アフターサービス

- お買い上げいただきました製品には万全を期しておりますが万一不備な点がございましたらお買い上げの販売店、もしくは下記までご連絡ください。



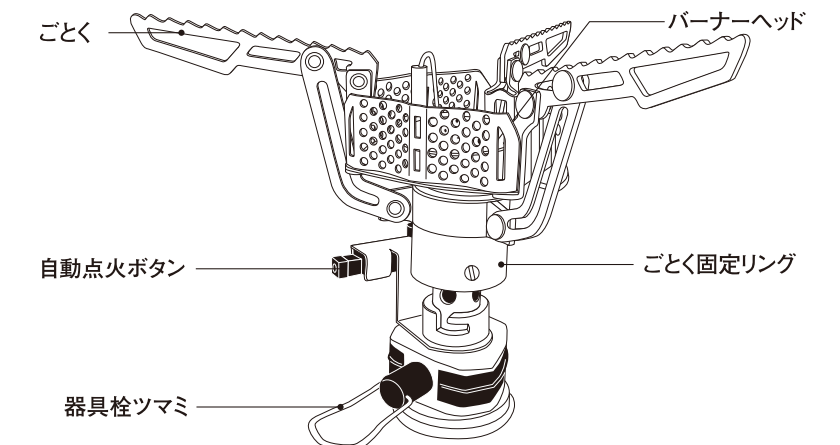
The Outdoor Company™

コールマンジャパン株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
お問い合わせ先 0120-111-957

仕様

品名	FYRESTORM™
Model	2000028328
点火方式	圧電点火式
外形寸法	約φ120×110(h)mm(使用時) 約φ60×110(h)mm(収納時)
重量(本体)	約150g
使用ガスカートリッジ(容器)	純正LPガス燃料[Tタイプ]230g、470g
ガス消費量	約280g/h*(スーパースト使用時)
*点火後10分間のガス消費量より算出	

各部の名称



コールマン製品保証書 Model 2000028328

お客様	ご芳名	様 TEL.
ご住所		
取扱販売店	店名・住所・電話番号	
保証期間	お買上げ日	年 月 日より 1年間

本書は、本書記載内容にそって無料修理をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品に本書を添え、お買い上げの販売店にご依頼ください。お買い上げ年月日、販売店名などの記入もれがありますと無効になります。必ずご確認ください。記入のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。また、お買い上げいただいた時のレシート、領収書を添付して保管ください。ご転居、ご贈呈などでお買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、最寄りのコールマン製品取扱店にご依頼ください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

コールマンジャパン株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
商品のお問合わせについては、右記へご連絡ください。お問い合わせ先 0120-111-957

無料修理規定

- 取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店、または当社が無料保証いたします。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
(イ) 本書のご提示がない場合。
(ロ) 本書に、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名などの記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
(ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障、損傷。
(ニ) お買い上げ後に、落とされた場合等による故障、損傷。
(ホ) 火災、公害および地震、風水害、塩害その他天災地変等、外部に要因がある故障、損傷。
(ヘ) 指定外の燃料使用による故障、損傷。
- 保証期間経過後の有料修理は、お客様のご希望により、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

修理メモ
